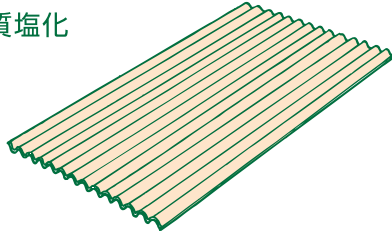


材料と道具

ひとくちに波板といってもいろいろな材質、サイズがあります。

【材質】

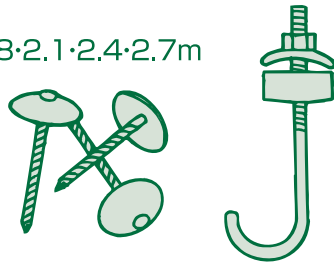
塩化ビニール・硬質塩化ビニール(ポリカーボネート)・ガラスネット・カラータン・角波トタンプリント波板



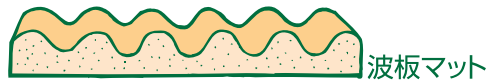
【サイズ】

幅66cm×長さ1.8・2.1・2.4・2.7m

【材料】



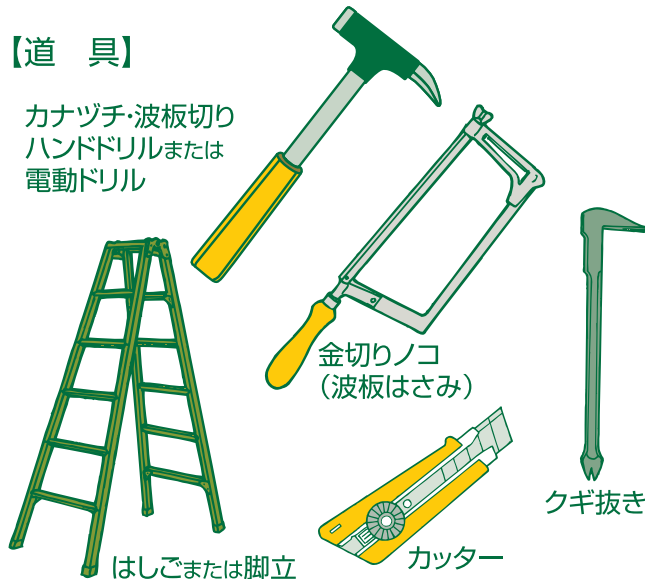
傘クギまたはフックボルト



波板マット

【道具】

カナヅチ・波板切り
ハンドドリルまたは
電動ドリル



金切りノコ
(波板はさみ)

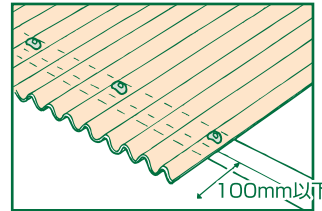
クギ抜き

カッター

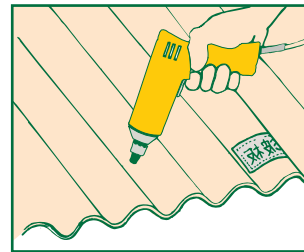
はしごまたは脚立

ここがポイント!

- 波板を張る場合、軒先は100mm以下になるように張り、傘クギと傘クギの間隔が3~5山おきになるようにしてください。



- 波板に穴をあける場合は波板キリかハンドドリル、電動ドリルなどを使いますが、必ずクギやボルトの直径より2~3mm大きめの穴を、裏からあけるようにしましょう。



- 波板の表面はラベルが貼ってある面です。



(社)日本DIY協会認定DIYアドバイザーが、ご質問にお答えいたします。お気軽にお声をおかけ下さい。

サービスのご案内



配送・宅配便 切り売り商品 修理

- クレジットもご利用になれます。



返品・交換 表札・額の受注 スパークスクリ



HOME CENTER
SEKICHU

ホームセンターセキチュー

制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進部
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

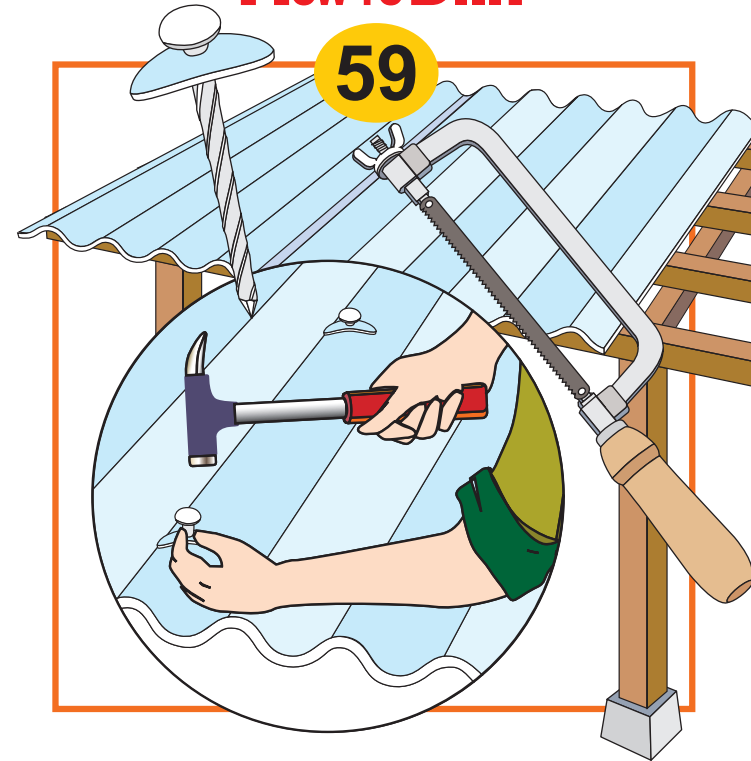
TEL.027-345-1111(大代表)

波板の張り方

自分でやってみよう!

セキチュー
HOW TO D.I.Y

59



カーポートや倉庫、雨囲い等によく使われている波板ですが、ちょっと割れたり、小さな穴があいたりしてきます。小さい部分なら補修で何とかできますが、大きな割れだと、そっくり張り替えましょう。波板の張り替え方を中心に、補修の方法も紹介します。

塩ビ波板の張り方

1 必要量を見積る

古い波板をはがす前に波板のサイズと枚数、傘クギの本数を数え、必要量を購入します。

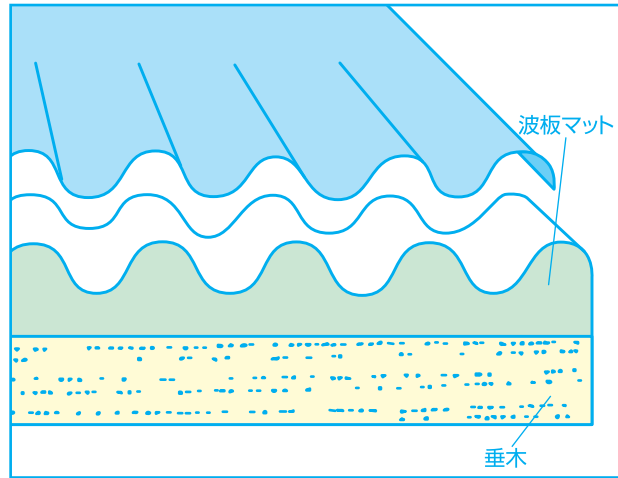
2 古い波板をはがす

上に重なっている方からはがします。もろくなっているので下に当て木をして傘クギを順序よく抜いていきます。傘クギが抜けない場合は、カナヅチでクギのまわりの波板をたたき割って抜きやすくします。



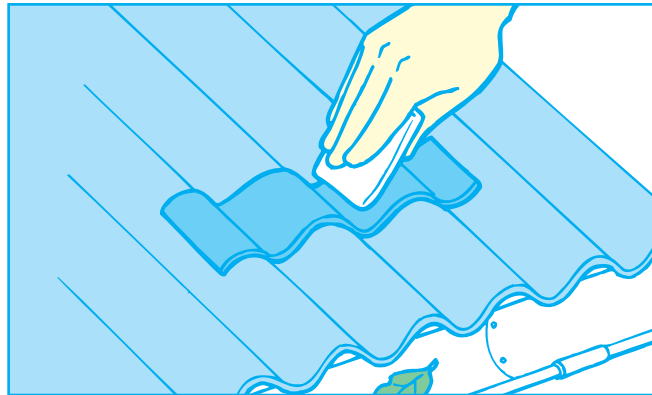
3 新しい波板を張る

はがしたのと逆の順序で新しい波板を張っていきます。棧と波板の間にクッションの役目をする波板マットを両面テープで止めると、作業がしやすく、波板自体の強度も増します。波板は必ず2~3山以上重ねて、傘クギは必ず棧の位置に、3~5山おきに、山の部分に打っていきます。クギを打つ前に、波板キリで波板に穴をあけておくと、クギを打つときに波板が割れるということもなく、打つときに波板がはずんで打ちにくいということもありません。



塩ビ波板の補修

波板の小さな割れや穴は波板専用の補修テープを貼りましょう。波板はもろいので、上に上らないで、はしごか脚立に乗って作業するようにしましょう。もし波板の上に乗らなければならない場合は、はしごや板を水平に渡して、それに乗るようにしてください。



4 接ぎ目にはクギを2本打つ

2枚目から接ぎ目は2山以上重ね、クギを2山続けて打ちつけます。3枚目、4枚目と張っていけばでき上がりです。
※波板の支柱が鉄骨の場合は、傘クギの代わりにフックボルトをイラストのように使います。

